

| | |
|------|---|
| 要件事項 | <p><Air-NACCS> 「混載貨物確認情報登録（HPK）」業務におけるHAWB無料期間適用の可能化</p> |
| 機能概要 | <p><変更前仕様> MAWB単位に保税運送を行った貨物において、MAWBに対する「搬入確認登録（システム対象内保税運送）（BIN01）」業務実施に先立ち、HAWBに対するHPK業務を実施した場合、HAWBに対する無料期間適用ができない。</p> |
| | <p><変更後仕様> MAWB単位に保税運送を行った貨物において、MAWBに対するBIN01業務実施に先立ち、HAWBに対するHPK業務を実施した場合も、HAWBに対する無料期間適用選択を可能とする。 無料期間を適用しない旨を登録しなかった場合は、一律で無料期間「適用あり」とする。</p> |

1. 変更内容

(1) HPK業務における無料期間適用選択を可能化

HPK業務等において、入力項目「孫混載表示」欄を、「孫混載及び無料期間適用表示」欄として入力区分を変更し、MAWB運送中のHAWBに対する無料期間適用選択を可能にする。

・変更前「孫混載表示」欄の入力区分

- ①孫混載仕分けの場合は、「Y」を入力
- ②孫混載仕分け以外の場合は、スペースを入力

・変更後「孫混載及び無料期間適用表示」欄の入力区分

(A) システムにより蔵置料金計算を行う旨が登録されており、かつ無料期間を適用する旨が登録されている利用者である場合、以下の形式で入力

(a) MAWBが運送中（他空港向一括保税運送中及び同一許可内運送中は除く）の場合

- ①孫混載仕分け以外で、かつ保管料の無料期間を適用する場合は、スペースを入力
- ②孫混載仕分けで、かつ保管料の無料期間を適用する場合は、「Y」を入力
- ③孫混載仕分け以外で、かつ保管料の無料期間を適用しない場合は、「A」を入力
- ④孫混載仕分けで、かつ保管料の無料期間を適用しない場合は、「B」を入力

※無料期間を適用しない場合のみ、新区分（「A」及び「B」）を入力し、無料期間を適用する場合は従来通り、孫混載仕分けの入力区分（スペースまたは「Y」）を入力する。

(b) 上記(A)以外の場合

- ①孫混載仕分け以外の場合は、スペースを入力
- ②孫混載仕分けの場合は、「Y」を入力

(B) 上記(A)以外の場合、以下の形式で入力

- ①孫混載仕分け以外の場合は、スペースを入力
- ②孫混載仕分けの場合、「Y」を入力

(2) PKG業務における無料期間適用の一律化

「貨物確認情報登録（PKG）」業務等において、他空港向一括保税運送（ULD収容）貨物を搬入する場合に、一律で無料期間を「適用あり」とする。

・変更前

- ①HPK業務に先立ってPKG業務が実施された場合は、無料期間適用有無は選択可能。
（「無料期間適用表示」＝「N：適用しない」とした場合もエラーとならない。）
- ②PKG業務に先立ってHPK業務が実施された場合は、無料期間は一律「適用あり」となる。

・変更後

- ①HPK業務に先立ってPKG業務が実施された場合は、無料期間は一律「適用あり」とする。
（「無料期間適用表示」＝「N：適用しない」とした場合にエラーとする。）
- ②PKG業務に先立ってHPK業務が実施された場合は、無料期間は一律「適用あり」となる。
- ③PKG業務の「無料期間適用表示」項目の入力を不可とし、画面テンプレート上から「無料期間適用表示」欄を削除する。（電文の内容に変更は無い。）

※他空港向一括保税運送（ULD収容以外）貨物の場合は、現状で一律「適用あり」となる。

詳細については「【別紙】ルート一覧」参照。

2. 変更対象業務／変更対象管理資料等

(1) 変更対象業務

- ・「混載貨物確認情報登録（HPK）」業務
- ・「混載貨物確認情報訂正（CHP）」業務
- ・「貨物確認情報登録（PKG）」業務
- ・「貨物確認情報訂正（CPK）」業務

(2) 変更対象管理資料

なし

3. 特記事項

- (1) ヘルプファイル等変更に伴い、端末ダウンロードが必要となる。
- (2) 入力項目「孫混載表示」欄の入力方法が変更になることから、自社システムを構築している利用者への影響がある。

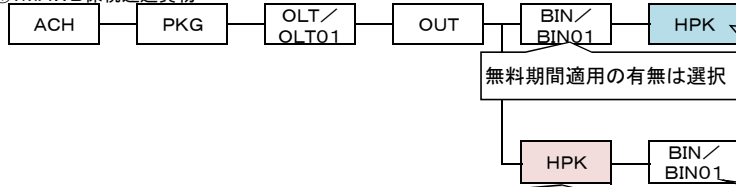
【変更点1】

ルート①②においてHPK業務がBIN01業務に先行して実施された場合に、HPK業務にて無料期間を適用する。
ただし、無料期間を適用しない場合は、「孫混載及び無料期間適用表示」に「A」または「B」を入力する。

【変更点2】

・ルート①②においてBIN01業務が実施された後に、HPK業務にて「孫混載及び無料期間適用表示」に「A」または「B」を入力された場合はエラーとする。
・ルート③④⑤⑥において、HPK業務にて「孫混載及び無料期間適用表示」に「A」または「B」を入力された場合はエラーとする。

ルート①: MAWB保税運送貨物



【変更前】
・孫混載及び無料期間適用表示:スペースまたは「Y」のみ入力可。
・無料期間適用の有無はBIN01業務の入力を引き継ぐ。

【変更後】
変更前仕様と同様。
ただし、**新区分(「A」及び「B」)**を入力された場合はエラーとする。

【変更前】
無料期間は一律で「適用なし」とする。

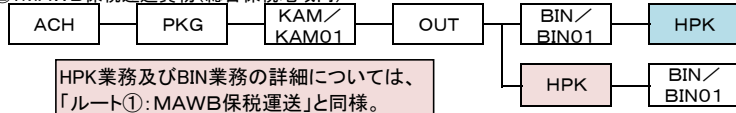
【変更後】
システムにより蔵置料金計算を行う旨が登録されており、かつ無料期間を適用する旨が登録されている利用者の場合、**無料期間は「適用あり」とする。**
ただし、**無料期間を適用しない場合は以下の区分を入力する。**

①孫混載仕分け以外で、かつ保管料の無料期間を適用しない場合 : 「A」を入力
②孫混載仕分けで、かつ保管料の無料期間を適用しない場合 : 「B」を入力

従来の入力区分(スペース及び「Y」)についても入力可能とし、その場合は無料期間は「適用あり」とする。

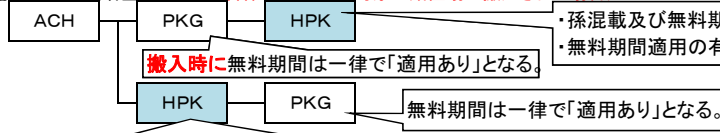
・無料期間適用の有無は選択可能。
・HPK業務で登録した無料期間とBIN業務で登録する無料期間は一致チェックを行わない。
・BIN業務でMAWBに登録した無料期間適用の有無は、HPK業務実施済みHAWBには反映されない。(HPK業務の入力を優先とする。)

ルート②: MAWB保税運送貨物(総合保税地域内)



HPK業務及びBIN業務の詳細については、「ルート①: MAWB保税運送」と同様。

ルート③: MAWB到着空港貨物(無料保管期間適用対象の蔵置場に搬入された場合)



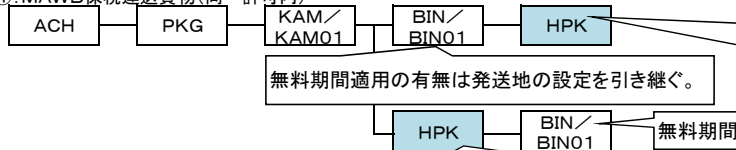
・孫混載及び無料期間適用表示:「Y」、スペースのみ入力可。
・無料期間適用の有無はMAWBの設定を引き継ぐ。

搬入時に無料期間は一律で「適用あり」となる。

・孫混載及び無料期間適用表示:「Y」、スペースのみ入力可。
・**搬入時に無料期間は一律で「適用あり」となる。**

【変更後のHPK業務】
現状仕様と同様。
ただし、**新区分(「A」及び「B」)**を入力された場合はエラーとする。

ルート④: MAWB保税運送貨物(同一許可内)



無料期間適用の有無は発送地の設定を引き継ぐ。

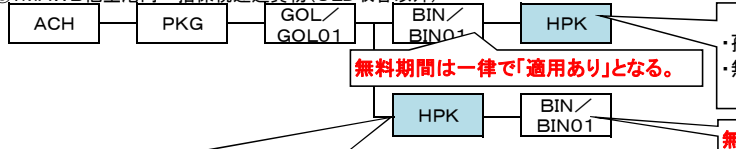
・孫混載及び無料期間適用表示:「Y」、スペースのみ入力可。
・**無料期間適用の有無はMAWBの設定を引き継ぐ。**

無料期間適用の有無は発送地の設定を引き継ぐ。

・孫混載及び無料期間適用表示:「Y」、スペースのみ入力可。
・**無料期間は一律で発送地の設定を引き継ぐ。**

【変更後のHPK業務】
現状仕様と同様。
ただし、**新区分(「A」及び「B」)**を入力された場合はエラーとする。

ルート⑤: MAWB他空港向一括保税運送貨物(ULD収容以外)



無料期間は一律で「適用あり」となる。

・孫混載及び無料期間適用表示:「Y」、スペースのみ入力可。
・無料期間適用の有無はMAWBの設定を引き継ぎ、**一律で「適用あり」となる。**

無料期間は一律で「適用あり」となる。

・孫混載及び無料期間適用表示:「Y」、スペースのみ入力可。
・**無料期間は一律で「適用あり」となる。**

【変更後のHPK業務】
現状仕様と同様。
ただし、**新区分(「A」及び「B」)**を入力された場合はエラーとする。

ルート⑥: MAWB他空港向一括保税運送貨物(ULD収容)



無料期間は一律で「適用あり」となる。

・孫混載及び無料期間適用表示:「Y」、スペースのみ入力可。
・無料期間適用の有無はMAWBの設定を引き継ぎ、**一律で「適用あり」となる。**

無料期間は一律で「適用あり」となる。

・孫混載及び無料期間適用表示:「Y」、スペースのみ入力可。
・**無料期間は一律で「適用あり」となる。**

【変更後のHPK業務】
現状仕様と同様。
ただし、**新区分(「A」及び「B」)**を入力された場合はエラーとする。